

環境基本計画の理念

みんなで考え行動する 里山が育む 人と環境にやさしいまち・能勢

人は、空気、水、大地、太陽など、自然の恩恵のもとで生存しています。

私たちの能勢町は、大阪と京都、兵庫にはさまれた地域に位置し、豊かな自然と歴史に恵まれて生命をはぐくみ、天与の自然美に先人の努力を積み重ねて、独自の文化をもつまちとして発展してきました。

しかし、都市化の進展や資源・エネルギーの大量消費などを伴った社会経済活動は、私たちの町にも押し寄せ、今まさに私たちの生活は変化の渦中にあります。身近な自然を減少させ、環境への負荷の急速な増大をもたらすことは、私たちを取り巻く生態系の微妙な均衡と循環にも影響を及ぼすこととなり、同時に、すべての生き物の生命の源であり、人類の存続の基盤であるかけがえのない環境の、地球規模での損失につながることを認識しなければなりません。

一方で、能勢町は、予期しないダイオキシン問題により全国的な注目を集めることとなり、静かな山あいのまちである私たちの町が、公害・環境問題と深い関わりをもつことを内外に知らしめることとなりました。私たちは、与えられた環境資源がかけがえのない生活の基盤であるとともに、自然の摂理には人知の及ばない境地があり、ゆえに常に最大限の配慮と畏敬をもってこれに接しなければならないことを学びとりました。

このため、私たちは、豊かな環境の恵みを享受する一方で環境に対して様々な影響を与えていることや、地域の環境を良好に維持することが地球環境の保全につながることを理解し、またダイオキシン問題から得た教訓を活かして、これまでの生活や事業活動を自ら問い直し、すべての町民の参加と協働によって地域の健全で恵み豊かな環境を保全し、自然と共存するとともに環境資源が循環的に活用される社会の実現をめざすという、新しい価値観に支えられた文化を築いていくことが求められています。

(能勢町環境基本条例前文より抜粋加工)

目 次

第1章 計画の基本的事項	1
1) 計画策定の背景と目的	2
2) 環境基本計画の位置づけ	3
3) 計画の対象範囲	3
4) 計画期間	3
5) 環境施策の実施状況	3
6) 計画の改定において特に重視した国内外の動向	4
7) 能勢町の環境の分析及び今後の方向性	6
8) 本計画の構成	7
第2章 計画の基本的事項	9
1) 目指すべき将来像	10
2) 将来像を実現するための施策体系	11
第3章 将来像の実現に向けた施策・取組	13
基本目標 1 ゼロカーボンタウンを形成して気候変動に対応する	14
基本目標 2 豊かな自然環境・生物多様性を未来へつなぐ	19
基本目標 3 資源を有効活用し循環型社会に近づく	23
基本目標 4 安心して快適な生活環境で暮らす	26
基本目標 5 町民1人ひとりが環境を考え、行動する	29
第4章 重点施策	33
重点施策 地球温暖化対策事業の推進	34
資料	35